

交 通 ア ク セ ス

お気軽に  
このような方は、ご相談ください。

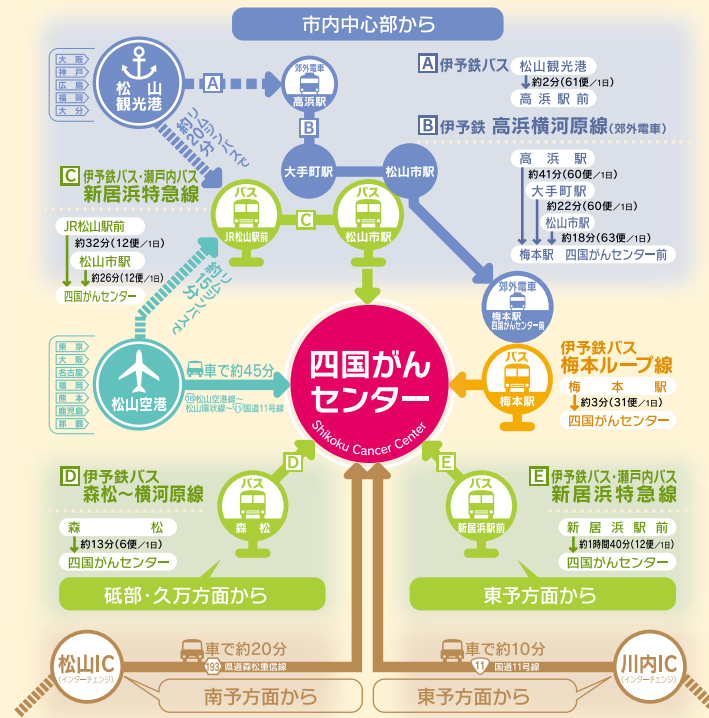
- 血縁者にがんが多い (特に大腸がん、乳がんなど)
- 何度もいろいろながんができる
- 若くしてがんができる ...など

日本人の3人に1人はがんで亡くなる時代です。単に血縁者にがんが多いだけではがん家系とは言えません。がん家系にも医学的な診断基準が存在します。

お問い合わせ

- <時 間> 8:30~17:15(土・日・祝日を除く)
  - <場 所> がん相談支援・情報センター
  - <連 絡 先> 089-999-1114(直通ダイヤル)
  - <費 用> 初診(専用カルテ作成時)10,000円  
再診5,000円/回  
遺伝子検査は別途実費負担
- ・家族性腫瘍(がん)相談専用のカルテを必要に応じて(相談者1人ごとに)1冊作成します。家族性腫瘍(がん)相談は自費診療です。(同日に受診した保険診療は全額自費となります。)
  - ・料金は相談日ごとに相談の前に徴収させていただきます。差額が生じた場合は後日精算いたします(相談の途中で新たに同席者の専用カルテを作成する必要が生じた場合など)。

家族性腫瘍(がん)に関する情報はホームページにも掲載しています  
<http://www.shikoku-cc.go.jp>



独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター  
がん相談支援・情報センター

〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲160  
TEL(089)999-1114 FAX(089)999-1115  
URL <http://www.shikoku-cc.go.jp/>

2008.10 2,000(S)

家族性腫瘍(がん)相談室  
家族のために、  
自分のために、



独立行政法人国立病院機構  
四国がんセンター

# 四国がんセンター 家族性腫瘍(がん)相談外来受診の手順

**お問い合わせ窓口**  
がん相談支援・情報センター  
相談支援センターで事前に簡単なお話を伺い、担当医師との相談日程を調整します。

**予 約**

**初診 相談・カウンセリング**  
病歴聴取・家族歴調査

専門知識のある医師および医療スタッフが対応します。

血縁者の **がん**、**病状**、**がんになった年齢** についてお訊ねします。  
事前にご確認ください。

家族性腫瘍(がん) または 疑い

**再診 適切な管理方針のアドバイス**  
(遺伝子検査)

疑いなし

平均的ながん検診

## 相談について

家族性腫瘍(がん)相談室では、患者さんとその家族を対象として、家系調査、生活環境調査、疾患によっては遺伝子診断の手法を用いてがんの発症の原因を検索し、がんの早期発見や予防を通じて今後の生活に前向きに立ち向かっていけるよう支援いたします。

相談は十分に時間をかけてお話をうかがうため、完全予約制です。事前に「がん相談支援・情報センター」へ直接または電話でご予約ください。なお、相談は個室で行い、内容は外部に漏れることのないよう厳重に管理いたしますので、ご安心ください。

## 家族性腫瘍(がん)とは?

がんは遺伝子の変異の積み重ねによって起こる疾患です。この遺伝子の変異は、「生まれつき持っているもの」と、生まれた後に「環境の影響を受け起こってくるもの」があります。このうち、生まれつき持っている遺伝子の変異は、遺伝によって子孫へと受け継がれていきます。

家族は、血のつながりがあり生活習慣も似ていることから、同じような「生まれつき持つ遺伝子変異」と「環境の影響でおこる遺伝子変異」を持つ可能性が高くなります。その結果、家族内にがんの患者さんが複数見られることがしばしばおこります。このように、**家族内にがんの患者さんが複数発症するものを、家族性腫瘍(がん)**と呼んでいます。

### 遺伝子と遺伝

がんは遺伝子の変異によって起こる病気です。

しかし、大部分のがんは親から子に遺伝しません。それは、大部分のがんが、加齢によって遺伝子(DNA)が傷つくという後天的な遺伝子の変化によるものだからです。「遺伝子」と「遺伝」は区別して考える必要があります。

### 遺伝子病

遺伝病